

本能まちづくり委員会委員長の西嶋直和氏と、当委員会のコンサルタントをつとめられたU F J 総合研究所プロジェクトリーダー善積康子氏でした。

本能まちづくり委員会の立ち上げから地区計画の策定・しおりの制作過程などが紹介され、○本能まちづくり委員会が自治連合会下の委員会として組織され、多くの学区民の協力が得られること ○委員会・専門家・行政との信頼関係をもとに、有効な情報が提供され、議論が丁寧に積み上げられて合意形成がなされたこと ○本能がめざすまちづくりのルールは都市計画的はハードなものではなく、まちの住民が自分たちの言葉で語るソフトなルールであること、等が他地域のまちづくりに携わる方々にむけて語られました。本能まちづくり委員にとっても、自分達の活動を振り返るのに大変参考になりました。

待っていました“暑い”夏!

本能夏まつり



ゲームコーナーは、子供たちで大人気!

8月23日、昨年に引き続き、本能公園界隈で本能夏まつりが開催されました。

冷夏といわれた今年の夏でしたが、お盆明けから猛暑が続き、この日の最高気温も36度近く。準備の段階から、スタッフが乾ききった公園の地面に何度も水をまいていました。

夕方4時、公園内のゲーム・コーナーでは祭りを楽しみにしていた子供たちが列を作り、7種類のゲームはどれも熱中する子供と親、あるいはおばあちゃんの歓声につつまれていました。特にミニボーリングは終了予定時刻の6時で、まだ30人以上が並び、結局50分



↑ミニボーリング

↓スーパーボールすくい



以上もオーバーする盛況ぶりでした。

公園東側の小川通は、飲食コーナー。今年のメニューは鮎の塩焼き、さざえの壺焼き、焼き鳥、焼きそば、みたらし団子、フランクフルト、



小川通の飲食コーナーは大盛況

カキ氷、ところ天、わらび餅、おでんと種類も多く、通りに設置されたテーブルと椅子には、早くから人が集まっていました。照りつける暑さとゲームを終えたチビッコたちのため、カキ氷は早くから営業。他の店も開始予定時刻の5時よりも早い店開きとなりました。スタッフの威勢のよいかけ声と香ばしい匂い

に食欲もそそられ、6時ごろは通り一帯が、まるで通勤ラッシュ時の駅ような混雑ぶり。なかには隣接のガレージに、ちゃっかりとござを敷いて盛り上がるグループもあり、ちょっとした宴会場と化していました。

この時期にこのような地域主体の「夏まつり」は案外珍しいのでしょうか、本能学区以外の人でも大勢見えてました。

7時10分過ぎ、公園内のやぐらのまわりには、盆踊りの輪がではじめ、「炭坑節」「江州音頭」に合わせて、祭り気分も最高潮。また公園内のあちこちで、椅



炭鉦節にあわせて盆踊り



今年の新顔、鮎の塩焼きにさざえの壺焼き



一等賞の自転車は、誰の手に？

子に腰掛け、談笑する人たちも多く見られました。まるで夏の終わりを楽しみ、そして惜しむように…。

8時30分からは恒例の抽選会が、司会の人たちの楽しい口調で始まりました。景品は、トースター、スチームクリーナー、ヘルスメーター、扇風機、自転車…。一旦家に帰っていた人たちも、抽選会の始まる頃にまた公園に集まって、まさに黒山の人だかり。夜の公園にこれだけ大勢の人が、一堂に会するのもなんだか不思議で珍しい光景です。そして当選者の町名、名前が読み上げられるたび、あちこちで歓声が上がっていました。

8時50分、岡山自治連合会会長の「盛大な夏まつりが、地域の方々に定着し、今回も110名のボランティア・スタッフの協力で無事終了できました。ありがとうございました」という閉会の辞で、今年の本能夏まつりが終わりました。



「スーパーボールすくい、ミニボーリング、コイン落としをしました。夏休み最後なので、楽しんでます」

小野ゆきえさん、池野みやこさん、源田ゆうきさん
(高倉小4年)



「おかあさん、おばあちゃんといっしょにきました。スーパーボールで景品が当たりました」

尾松まりちゃん、ゆりちゃん
双子の姉妹6歳(池須町)

夏まつりの 主役たち

「おばあちゃんと来ました。ミニボーリング、ちょっとむずかしかった…」

芥川さとる君 4歳(元本能寺町)



「実家が藤西町なので来ました。今の住んでる地域は堀川より西ですが、このようなお祭りがないので、楽しみにしています。こういったこじんまりした、地域のお祭りの雰囲気が大好きです」

林ほのかちゃん 4歳とおばの八田さん(下瓦町)



「草津から京都に来て6年になります。去年に続いて2回目ですが、今年は模擬店の食べ物がたくさんあるうちにといい、早めに来ました。ゲームも子供と並んで楽しんでできました。住んでいる地域には、こんなお祭りがないので、ここで楽しんでいます」

ゆるぎもんた君 4歳
がく君 2歳
お母さんの萬木 綾さん(西六角町)



みんなでつくろう安心の街 ～被害を防ぐには(あき巢ねらい)～

最近、ひったくりなどの路上犯罪やあき巢に代表される進入盗が多発しています。留守と思われる家に忍び込んで、現金や品物を盗むドロボウ……。家での盗難被害でもっとも多いものです。

こんなことを心がけましょう



- ・風呂場の窓、便所の高窓、ベランダのガラス戸のように、盲点になりやすいところも、忘れずに戸締りをする。
- ・カギを入り口付近の牛乳箱などに入れておかない。
- ・外出するときは、隣近所に頼んでおく。マンションやアパートでは、管理人の活用も考える。
- ・できれば、防犯ベルやセンサーライトを取り付ける。
- ・出入口には、主錠のほかに、数多くの補助錠をつける＝ワン・ドア・ツー・ロック



一日以上留守にするときは、新聞、牛乳などは配達を断るか、とりかたづけを近所に頼んでおく。



マンションやアパートでは、知らない人を見かけたときは、「こんにちは」などの挨拶を交わすのも立派な防犯となる。

マンションやアパートの管理人には、次のことを頼んでおく

- ・外来者を確認、不審者を建物内に入れないようにする。
- ・留守のときは、ときどき見回るようにする。
- ・各部屋のドアや窓のカギは性能の保証された確かなものかどうか点検して、よく整備する。
- ・「管理人の承諾なき者の立ち入りを禁ず」などの防犯札を見やすい場所に掲出する。

あなたのカギは大丈夫ですか？

●防犯性の低いカギ	●防犯性の高いカギ
ディスク タンブラーキー	ディンプルキー
ウェーハー タンブラーキー	ディンプルキー
ピンタンブラーキー ・カギ山の数が少ない ・溝が浅い	ロータリーディスク タンブラーキー
	ピンタンブラーキー ・カギ山の数が多し ・溝が深い

安全・安心のまちづくりアンケートにご協力ありがとうございました。これを機に、ご家族で今一度安全（または、危険）について話し合う機会を持たればいかがでしょうか。

注意をした上に、万が一ドロボウに入られたら、『まず安全、そして110番』。ドロボウに出くわしたら、手出しをしたり、騒いだりしない。自分の安全を確認して、警察に110番する。本能自主防犯設立準備委員会 岡田 稔（五条防犯推進委員協議会副会長）

本能まちづくり委員会の 次回開催は

平成15年10月1日(水)午後7時から
場所 本能会議室 当日飛び入り歓迎!!

歩いて暮らせる街づくり まちなかを歩く日11月15日(土)～16日(日)に決定!!
染めのまち本能 公開工房開催!! みなさまのご協力をお願いします

編集後記

○ひと・まち交流館1階には“京のまちかど”というコーナーがあり、中世・近世・近代の町並み・町家の模型や、紹介ビデオなどがあり、昔から今までの、京都のまちのなりたちがわかります。ビデオには、3月の伝統産業の日の本能学区公開工房で撮られた職人さんの仕事風景が写っています。お近くを通られた時はちょっと立ち寄ってご覧下さい。N村
○今回、初めて「夏まつり」の記事を担当することになりました。会場の様子を見ながら、参加している人たちにインタビューしたり、写真を撮ったり。昨年のように祭りそのものを楽しむという気分には、なれなかったのですが、なんと抽選会の時に、名前が呼ばれて扇風機が当たりました！ その瞬間、疲れもいっぺんに吹っ飛びました。まさに「祭りの神様」からのご褒美、楽しい夏の思い出ができました。(Y.N.)